



# 森のなかま

2022年 7月号

NO. 169 (継続314号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 佐藤 恭平  
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

## 令和4年度 かながわ森林インストラクターの会 通常総会開催

(記 山口 久基事務局長⑩ 写真 末原 興一⑮)

令和4年6月11日(土) 特定非営利活動法人かながわ森林インストラクターの会通常総会が、総勢194名(会場出席者39名、書面表決、委任状含む)の参加を得て開催された。会場は日揮(株)様のご厚意によりお借りした「日揮(株)横浜本社5階会議室」。会議は、コロナ感染症予防対策として会場出席者の体調確認と手指消毒、検温を実施したうえで、13:00より開催された。

山口事務局長(11期)の司会により、久保副理事長(8期)の開会宣言、佐藤理事長(1期)の挨拶と続き、今回、ご多忙の中3年ぶりに出席されたご来賓県環境農政局緑政部水源環境保全課 井出課長様、同 岡田主事様、かながわトラストみどり財団 西ヶ谷専務理事兼事務局長様の紹介と挨拶を頂いた。

総会成立宣言の後、議長に上田啓二氏(10期)、書記に末原興一氏(15期)、大友博道氏(16期)、議事録署名人に野村昭憲氏(14期)、黒川敏史氏(14期)を選出し、第1部の総会議事の審議がスタートした。

議事の円滑な進行のため、第1号議案の令和3年度活動報告及び決算(案)は山口事務局長と佐藤会計部長、末原監事が一括して報告し、第2号議案の令和4年度活動計画及び予算(案)を各担当が個別に報告することとした。質疑(事前の書面質疑を含む)応答ののち、第1号議案と第2号議案を一括して審議し、賛成多数で可決された。



### ○ 令和4年度の会活動方針は

- ・ 安全最優先
- ・ 会員資質向上
- ・ インストラクター派遣募集を会全体で支援

○ 休憩ののち、第2部のグループミーティングを6グループに分けて行なった。第2部は佐藤理事長、野牛理事の司会進行で、自ら考え行動するインストラクターを目指して、各グループに与えられた条件でのネットワーク活動を企画してもらった。各グループは活動実施に向けて、色々な意見を出しあい、企画をまとめ発表した。1時間強の充実した第2部となった。

○ 今回は、コロナ感染症予防対策を施しての3年ぶりの会場での通常総会となりましたが、第1部の総会議事の審議、第2部のグループミーティングを通じて、会員の相互理解とモチベーションアップに貢献出来たのではないのでしょうか。

# 緑の祭典 『かながわ未来の森づくり 2022 in はだの』



5月22日(日) 表丹沢野外活動センターにて開催!

主催: 神奈川県、秦野市、(公財)かながわトラストみどり財団、 運営: 県民との協働による森林づくり実行委員会  
 協賛: 神奈川県森林協会、神奈川県みどり会 協力: もりかみ協議会、神奈川柑橘果工株式会社

・インストラクター ; 総括L上宮田①・植栽L瀧澤⑤・探訪L黒川④・佐藤①・菊池①・相馬⑤・小野⑦・山崎⑦・若林⑦  
 内野⑨・水口⑨・村井⑨・杉崎⑩・上田⑩・松本⑪・吉田⑪・山口⑪・湯浅⑪・長尾⑪・西出⑫  
 松石⑬・斎藤⑬・大原⑬・古館⑬・牧石⑭・岩田⑭・鈴木⑭・野村⑭・西岡⑭・石垣⑮・河西⑮  
 飛田⑮・大友⑯・久次米⑯・久慈⑯ 計35名

(記写真 上宮田 幸恵 ①)

平成22年5月に県立秦野戸川公園で第61回全国植樹祭が開催されてから12周年を迎えた記念として、全国屈指の森林観光を目指す秦野市で本祭典が開催され、参加者は一般参加 257名、緑の少年団42名、事務局 スタッフ含めると 総数 463名となる大イベントになりました。

当日は「**緑のそよ風〜いい日だね〜**」の歌を口ずさみたくなるような晴天に恵まれ、まさに風薫る5月の中での開催でした。7時45分に秦野駅に集合し、バス添乗担当のインストラクターは秦野駅と秦野市役所にそれぞれ別れ待機、一般参加者をお迎えし会場へご案内しました。植樹担当のインストラクターは式典会場で全体ミーティングを終えた後、植樹会場で待機です。9時30分から参加者を乗せたバス10台が次々と現地を目指し出発。野外活動センター到着後インストラクターの引率でオーガニックマーケットのエリア、出店ブースエリア、式典会場を横目で見ながら、10分ほどで植樹会場受付に到着です。受付でヤマビル対策を施した後植樹場所へ。森の中は参加者の行列が出来るほど一気に活気づきました。



緑の少年団の皆さん



丁寧に植えていただきました

紅葉樹林帯を目標とする面積約0.30haの森に、無花粉ヒノキ・無花粉スギ・カエデ類・カツラ・キハダ・ホウノキ・ケヤキ・コナラ・シオジ・モミ・ヤブデマリ・ヤマザクラなど27種450本の苗木を一人1~2本、インストラクターより植樹方法についての説明を受け、数十年後の広葉樹の森に思いをはせながら丁寧に植えていただきました。



11時30分メイン会場からは式典開始の合図のように  
 壮大なホルンの響きが聞こえ、ミス日本みどりの女神の進行  
 により式典が開始されました。主催者挨拶・来賓の方のご挨拶  
 を頂戴し森の中も静寂に包まれキセキレイの声だけが響  
 きます。式典も終わるころ、森の奥からは森の妖精「もりりん」  
 と水の妖精「しずくちゃん」も応援に駆け付けてくれ一瞬にし  
 て子供たちに囲まれてしまいました。



「モリリン」と「しずくちゃん」

式典後、丸太切り会場では初めて木をきるお子様の支援に  
 インストラクターは奮闘しました。



丸太切り ぎこぎこヨイショ!

験・イタドリ(葉(茎))で10円玉をピカピカにする硬貨磨き体験、  
 ヤブムラサキの葉の感触体験とインストラクターそれぞれの得  
 意分野で参加者のみなさんに楽しんでいただきました。折り返



あれ何かな?

災禍にあって、大勢で集まる機会が阻まれた数年でしたが「未来の森づ  
 くり」に沢山の方にご参加いただき貢献いただきました。この日を無事に  
 迎え、終えられましたことに関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



式典の会場の様子



ホルンの壮大な演奏

昼食をはさみ、午後は葛葉の泉までの往復1時  
 間の森林探訪です。118名の方に参加いただき29  
 名のインストラクターで対応。早めに参集された方  
 を待たせることなく参加者4~5人一組で随時出発  
 しました。マツカゼ草・クサギ・コクサギなどの香り体



何かおもしろい植物があるよ!

し地点では  
 セラピストか  
 ら森の癒し  
 効果のお話  
 もいただきました。



フタリシズカも今日は賑やか





## かながわ森林インストラクターの会紹介 (森林技術部会)

(記 森林技術部会長 岩田 典義<sup>⑭</sup>)

森林技術部会の役割は、森林づくり・森林の保全育成のためのボランティア活動参加者への指導および指導者の育成支援、これらの活動を通じて、森林・林業の意義や環境保全機能についての啓発を行うことです。また自ら森林整備を行い環境保全機能の向上を図っています。

<p>●会員向け研修会の実施</p> <p>森林施業に関わる技術向上、インストラクターとしてのレベル向上を図るための研修会を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下刈り、枝打ち、間伐、除伐、竹林整備研修会、手元ロープ作成講習会など（年 4 回程度）</li> </ul> 	<p>●森林整備活動の実施</p> <p>森林づくり活動団体として、人工林の整備や里山保全活動などを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やどりき水源林内人工林整備活動（月 4 回）</li> </ul> 
<p>●人材育成への取り組み</p> <p>チェーンソー作業や刈り払い機作業など多様化するニーズに対応できる人材の育成を目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェーンソー、刈り払い機、径路整備研修会の実施（年 1 回程度、いずれも会員向け）</li> </ul> 	<p>●森林整備事業の請負・受託</p> <p>森林の保全・再生に関わる事業を取り込み、今後の会の新たな活動に対応するべく実績作りをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸太の森草刈り、丸太の森径路整備、田名塩田風倒木処理などを実施しました。</li> </ul> 
<p>●その他の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業見学会、会員の親睦会、懇親会の企画と実施</li> <li>・会員向け作業マニュアル作成・編集（植栽、下刈り・鎌研ぎ、枝打ち、間伐、竹林整備、除伐・つる切り）</li> <li>・講師派遣（かながわトラストみどり財団主催ブラッシュアップ研修、かながわ森林インストラクター養成講座）</li> <li>・運営委員会の開催（年 5 回）</li> </ul>	<p>■部会名称変更への思い</p> <p>2021 年 10 月、部会が目指す方向と活動内容をより明確にしたいと、部会の名称を森林部会から森林技術部会へと変更しました。各活動での指導体制や安全管理の充実に努め、会員の森林施業の技術、技能の向上、自ら森林施業に関わる喜びを感じる活動を目指して参ります。今後とも森林技術部会の活動へのご理解とご支援をお願い申し上げます。</p>

## かながわ森林インストラクターの会紹介 (森林癒やし部会)

(記 森林癒やし部会長 若林 良子⑦)

こんにちは。森林癒やし部会です。

森には科学的証拠(エビデンス)に実証された癒やしや健康促進に寄与する効果があります。

そんな保養機能を持つ森を通じて心と体の健康を維持・促進するための支援、プログラムを提供するのが森林癒やし部会です。また、保養機能を持つ森の素晴らしさ、大切さを発信・啓発しより多くの方々に森の重要性を伝えていくことも重要な役目としています。

森の保養機能って？

森に入って「気持ちいい」「清々しい」「ゆったりした」と感じたことはありませんか？  
そんな心地よい気分を味わわせてくれるのが 森の保養機能 です。

ゆったり



科学的証拠の例

- ◇ 森林浴でストレスホルモンが減少する
- ◇ 森林浴で副交感神経活動が高まる
- ◇ 森林浴で交感神経活動が抑制される
- ◇ 森林浴で収縮期・拡張期血圧、脈拍数が低下する
- ◇ 森林浴で心理的に緊張が緩和し活気が増す
- ◇ 森林浴により NK 活性が高まり免疫能が上がる
- ◇ 森林浴により抗がんタンパク質が増加する

こんな効果が  
確認されました



(国研) 森林総合研究所、千葉大学環境健康フィールド科学センター、日本医科大学、日本衛生学会・森林医学研究会による、生理・心理・物理実験等により、森林のもつ「癒し」効果の科学的解明に関する研究より

具体的なプログラム例



座観



森林散策



ハンモック

このように 森林散策で適度な運動と森の中でゆっくり過ごす(安息)をベースに五感(見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わう)で森を自然を感じながらリラックスした時間を過ごします。

『森林癒やし体験ってどんなもの?』と思われた方。やどりき水源林 森の案内人では月に1回森林癒やし体験の日があります。ゆっくりのんびりと森を味わう体験をぜひしてみてください。観察会や森林整備とはまた違う新しい森での過ごし方が発見できると思います。



「やどりき周辺 自然観察

～桜三昧ハイキング」

場所:やどりきバス停～中山峠～中津川沿い

日時:2022 年 4 月 9 日(土)

インストラクター; L 上宮田⑩、水口⑨、古館⑬、河西⑭、飛田⑮

< 記 上宮田 幸恵⑩ >

やどりき周辺地域の魅力をもっと県民に知ってもらい、より多くの方にやどりき水源林に足を運んでもらおうと、やどりき事業部として今年度は寄バス停を起点とする自然観察(年2回)を行うことを企画をしました。初回は春!「桜三昧ハイキングやどりきの里へ」と銘打ち開催。当日は18名の方に参加いただき、インストラクター5名で案内をさせていただきました。

青空の下、寄バス停からロウバイ園を過ぎ、15分の急坂を登ると早々に土佐原地区の枝垂れ桜(みやま淡彩桜)と中津川を見下ろす大展望が広がり、満開の菜の花とまさにそこは桃源郷

の里!新緑とのコントラストに参加者からも歓声があがりました。



道 展望台での眺めは最高!

端に

はカテンソウ、クサノオ、カキドオシ、ニリンソウ、なども見られました。バス通りまで降り寄神社へ。ここは源頼朝妻正子の安産祈願として特使が遣わされた由緒ある神社で、

入口の大杉、境内の大イチョウはご神木ともいえる威厳さを感じさせます。

いよいよ本日のメインルート中津川へ。田代橋付近までの遊歩道で遅めの昼食。川沿いに植えられた220本の枝垂れ桜が「今がその時!」とばかりに迎えてくれました。途中にはニリンソウの群落もあり、参加者の方には記憶に残る桜三昧の一日となったようです。第2段として、秋の「紅葉の里!」(三廻部林道)を企画中です。こうご期待を!!



散策距離 5.5km



眼下には土佐原の大枝垂桜が



菜の花と桜のコントラストは絶妙です



沢エリア:危険要因を洗出



サクラ満開の下で昼食後、再スタートです



ニリンソウの群落は一見あり



## 活動短信

今回の掲載はR4年5月19日から5月28日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

7月(文月)(旧暦6月水無月)の

二十四節気と田んぼ(鎌倉)の様子

小暑 7/7 頃

例年梅雨明けするころ、蓮の花が咲きます。田んぼでは田の草取りを黙々とやっています。

大暑 7/22 頃

気温も湿度も上がり、蒸し暑い日が続きます。今年には、水不足が心配です。稲妻、夕立待ちましょう。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明  
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。  
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので写真もあれば添付ください。)

## ◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参 参加者 人数

県 例 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

インストラクター① (○数字:期)  研修枠

以下、本文を概ね400字前後を目安として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)

\*\*活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。\*\*

## ◆ 横浜市立上瀬谷小学校 間伐体験

日 令和4年5月19(木) 9:00~14:00 晴れ

場 長竹分収林

参 74名(5年生児童68名 教師6名)

財 古舘氏、南橋氏

L 松石⑬、佐藤⑤、小野⑦、松本⑪、西出⑫、  
牧石⑭、竹内⑮

朝からきれいな青空の晴天に恵まれ、暑いぐらいの陽ざしが差す日になりました。9時にインストラクターが集合して打合せをし、今日の安全目標を「足元に注意」としました。

子供たちは、前日に愛川ふれあいの村に宿泊し、バスで葦尾根ふれあい広場に到着しました。

バスから降りるとスムーズに班編成が出来て、6班別に道具配布場所まで移動しました。ヘルメットとフェイスシールドを身に付けて、枝打ち鋸を腰に付けると少し緊張した表情になった子供たちでしたが、間伐地

まで10分ぐらいの山道を登りながらの会話で少しずつ緊張が解けてきた様子で、「気持ちいい」、「この木を倒すの?」などの声も聞け、期待に満ちた表情に変わっていききました。

班毎に区分けされた作業場に到着して、担当インストラクターから間伐の必要性、間伐の方法などの説明を聞いて作業を開始しました。伐倒木は、20年前後のヒノキです。間伐場所は枯れ枝が散乱していて斜面も急な所があり、斜面が苦手な子どもにも頑張って貰いました。

初めはノコギリが上手く曳けない子がほとんどですが、交代しながら作業して次第に曳ける様になり、達成感あふれる表情になっていきます。特に伐倒の瞬間は、満足感があふれます。伐倒、枝処理、玉切り、コースター作りまで、予定時間内に全員無事に終了しました。今回の学校の体験目当ては、「林業の体験」であり、子供たちが熱心に鋸を曳き、汗をかいたことで林業について少しでも記憶に残ってくれることを期待します。



(記、写真 松石 藤夫⑬)

◆ 神奈川トヨタ自動車株式会社  
「水源林トレッキング」

日 令和4年5月20日(金) 8:00~15:30 曇り

場 やどりき水源林

参 大人42名(お客様22名、社員様20名)

県 環境農政局 緑政部 水源環境保全課

水源の森林推進グループ 松村様 村田様

L 内野⑨、野牛⑧、小笠原⑩、吉田⑪、牧石⑬

晴天に恵まれて、やどりき水源林には、高級トヨタ車レクサスが続々と到着。今回の活動は、水源林トレッキングと成長の森の間伐を組み合わせた新メニューです。内容は林道終点からAコースへ、成長の森19-10と19-11でカツラとホオノキの間伐を行い、2m位に玉切りした幹や枝を集会棟広場まで持ち帰るという盛沢山なものです。

午前の部は10:00スタート。主催者の挨拶や活動内容と諸注意の説明後4班に分かれて出発し、倉庫前でヘルメットと枝打ちノコを装着、共用の間伐用具は社員さんに持っていただき、新緑の中を進みました。事前に沢に

掛けて置いたアルミ板も上手に渡し、Aコースのアップダウンも足取りも軽くクリアし、目的地近くの鍋割山の見える高台で小休憩。作業路を下り間伐エリアに入りました。

植栽して15年近く経つ木々は高く伸びて見上げる程に。選木テープのついている木を各班1本、間伐手順を説明しながら交代で参加者に伐ってもらい枝払いと玉切りをして作業は終了。ヤマビルがいるので長居は無用と帰路につき予定時間内に広場に戻りました。持ち帰った木を使ってクラフトを楽しまれた方もいらっしゃいました。



午後の部は13:00スタートで2班に分かれて午前の部と同じ活動をしました。

参加された方から「貴重な体験で、トレッキング体験だけでなく森の役割や保護活動に参加できてとても良かった。」との感想があったと伺いました。

初めてのメニューで行き届かないこともあったと思いますが、やどりき水源林の豊かな自然と森の役割を感じていただけたと思います。(記 写真 内野 ミドリ⑨)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。



<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

#### ◆ ENEOS 株式会社根岸製油所様 みらいの森活動株式会社

日 令和4年5月21日(土) 雨のち曇り

場 県立21世紀の森

参 50名

県 岡田様他1名

統括 L 上田⑩

真竹林整備:L 佐藤⑤、大岡⑬、竹内⑮

クラフト・自然観察:L 西出⑫、西岡⑭

成長の森枝打ち:L 牧石⑭ 大友⑯

ENEOS様を乗せたバス3台が県立21世紀の森に到着時は、時折小雨が降っていました。午前は雨予報90%。「雨よ、本降りにならないでくれ」と祈る思いで開会式に臨みました。

主催者の原所長様より「コロナ過で3年ぶりに開催

をすることが出来たが、参加50名の規模縮小になってしまい70点の大会です」とのご挨拶が印象的でした。準備体操をした後に、竹林整備(参加17名+スタッフ2名)、クラフト・自然観察(13名+1名)、杉枝打ち(17名+2名)の活動をスタートしました。

私は、平成25年度(2013年)「成長の森」(神奈川県産無花粉スギ)の枝打ち指導を担当。小学校6年生の親子を含む17名のヤング・ミドル世代のメンバーで、半数以上は森林整備が初体験。森林整備の目的・周囲確認の徹底・安全な枝打ち作業を解説した後に、いよいよ枝打ち作業の開始です。林内は根本から樹冠に向かって枝葉が張り出し、薄暗く感じられます。多くの方は、始めのうちは枝打ちノコが上手く使えませんでした。切り方のポイントを指導してあげると上手く出来るようになりました。切り口(枝座)が出べそにならないよう、確認をとりながら丁寧に仕上げて行きました。約1時間30分程の作業で見通しは良くなり、林内の光環境が改善されたのを実感することが出来ました。参加者からは「夢中で作業することが出来て良かった」や「杉のいい香りで癒された」など喜びの感想を頂きました。



閉会式では斉藤副所長様より「インストラクターの指導のもと楽しく安全に活動を終え、森にも親しむことが出来て良かった。次回は盛大に開催できるように祈って参りましょう。皆さんご安全に！」の発声で会を閉めることが出来ました。

心配された天気でしたが、閉会式・昼食が終わるまで雨は降らずに済みました。(その数分後、一時的な大雨でした。)

半日の活動でしたが、安全に楽しく過ごせたので100点満点の活動だったと思います。ENEOS様スタッフ・県職員・財団スタッフに感謝申し上げます。

(記、写真 大友 博道⑯)

森のめぐみの掲載は、  
今月号はありません。  
次掲載は8月号です。

森のめぐみ シリーズ



## ◆ 横浜市立西富岡小学校 間伐体験

日 令和4年5月27日(火) 10:00～11:00 雨

場 足柄ふれあいの村

参 先生8名、5年生 98名、計106名

イ L 牧石⑭、小野⑦、久保⑧、松本⑪、大橋⑪、  
西出⑫、石垣⑮、大友⑯、大森⑯、岡村⑯、小林⑯

前日の天気予報は降水確率90%、小学校の判断で間伐体験⇒森林講話に変更となった。当日は交通機関も遅れが出るほどの強い雨が降る中、インストラクターは足柄ふれあい村に集合。管理棟～森林講話会場となった工作棟に移動中も雨の勢いは収まらず足元を濡らし工作棟に到着。初めの会を行い、インストラクター紹介後、各班毎に森林講話を実施。講話は派遣要請書の内容に沿った各インストラクターの得意分野で実施した。

植物、水、水道、紙芝居「水は森林からやってくる～水源の森林づくり～」、「苗木を植えて、長い時間世話をしながら育てます」のイラストを活用した説明、コースターを使い年輪の説明、付箋を使い子供たちに自分の好きな木の名前を書いてもらい新聞紙に張り付、対話する手法は子供たちが積極的に参加していた。杉の木の現物を活用しての話は先生から良いとの評価をいただいた。

11時に終わりの会を行い予定通り終了した。

(記、写真 牧石 稔⑭)



## ◆ (SMASの森事業部)

## SMASの森づくり活動(2022年度 第一回)

日 令和4年5月28日(土) 9:00～14:30 晴れ

場 SMASの森

参 40名(SMAS社員)

財 豊丸課長、藤本様

看 青木様

イ L 松石⑬、江上⑬、宇田川⑬、斉藤⑬、岩田⑭、  
牧石⑭、堀口⑯



住友三井オートサービス(株)(SMAS社)の社員が行う森づくり活動は、毎年定期的に4回程度実施されています。今回、今年度第1回(通算第12回)を実施しました。

5月としては、非常に気温の高い日となりましたが、良く晴れたので計画通り実行しました。

SMAS社の参加者は、札幌市、北九州市、広島市、仙台市など全国から40名の方が集まり、全社的なCSR理念の浸透と社員の皆さんの意識の高さが感じられます。

活動は、開会式と準備体操の後、活動広場までの林道をインストラクターの案内で、花の観察、イチゴの試食など様々に楽しみながら移動しました。まずは、森の空気を感じて貰いました。

その後3つの作業班に分かれ、①豪雨で流れた散策路の経路整備、②散策路周辺林床の倒木等の整備③ケヤキ純林の間伐、の3つの作業を、午前午後交代で実施しました。どの作業もしっかりと体力を必要とするものですが、皆さん、大変積極的に取り組んでおられました。「いい汗だ!!」と言う感じです。

昼休みの時間に、「樹木の炭酸ガス吸収量の計算法」のミニ講座、および「大鋸での大径木の玉切り体験」を実施しました。自動車関連企業のためか、ミニ講座に参加の方は真剣に高い関心を示しておられました。大鋸体験は、70cm径のシラカシを、30分で一ヶ所玉切り出来ました。応援の声と拍手で大変な盛り上がりでした。



一日を通して、汗をかき、楽しみもあって、全員無事に作業を終ることが出来ました。

今後も、社員の方の自然保護、環境保護活動が円滑に推進し充実したものとなるため、インストラクターも積極的に協力していきたいと思っております。

(記・写真 松石 藤夫⑬)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取り組んでいます。

全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。



### やどりき水源林ミニガイド

#### 「森の案内人」

案内人は、皆様をお待ちしています。  
水源林にお出かけください。

やどりき水源林ニュース 6月号  
発行しました。



<http://www.forest-kanagawa.jp/4field/news/news195.pdf>

- やどりき水源林問合せ:  
(公財)かながわトラスティみどり財団  
TEL: 045-412-2255  
FAX: 045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>  
E-mail: [midori@ktm.or.jp](mailto:midori@ktm.or.jp)



#### 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。  
郵便振替口座 00230-0-2454  
かながわ森林インストラクターの会  
宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>  
(HP担当: 井出恒夫)

#### ◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

黒川 敏史  
kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp  
Tel: 080-5477-2206

<電子配信会員向け担当> 笠原

Mail: [happy\\_kumakuma711@icloud.com](mailto:happy_kumakuma711@icloud.com)

<電子配信企業等パートナー様向け担当>

柳澤 Mail: [kshinrin\\_pr@icloud.com](mailto:kshinrin_pr@icloud.com)

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】黒川 敏史  
Fax: 0467-46-8650  
電話連絡先: 080-5477-2206  
[kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp](mailto:kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp)

【別冊】小林 照夫  
Mail: [kobayashi@ts-pocket.jp](mailto:kobayashi@ts-pocket.jp)

原稿は随時受け付けています。

### イベント情報

第19回やどりき水源林のつどい  
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/yadoriki.html>

日時 2022年8月6日(土)  
10時-14時  
場所 やどりき水源林  
(足柄上郡松田町寄)  
集合 8時45分  
小田急線 新松田駅周辺

申し込みは、6/28に終了しました。

#### <お詫びと注意喚起>

- ・最近、2016年3月の移転前の旧事務所連絡先への 間違い電話 ・ f a xがあり、ご迷惑をおかけしております。申し訳ありません
  - ・皆様へ 当会への連絡は下記の正しい連絡先へお願いいたします。
- NPO 法人かながわ森林インストラクターの会  
TEL 046-297-0301 FAX 046-297-0302

編集人: 黒川 敏史  
広報部: 吉田郁夫 松本保 笠原かずみ 阿藤壽孝 長尾晴子  
竹内明彦 柳澤千恵美 小林照夫 中澤良夫  
支援: 大原正志 江頭淑子

#### 編集後記

★突然の梅雨明け! 暑い、暑い、まだ6月なのに。  
水源林に行けば少しは気温が低い筈だが、それでもやっぱり暑いだろうなあ。  
どう考えても、地球温暖化の兆候と思えるけど・・・  
対策はゆっくりとしか進まず・・・  
ゆでガエルになるのかな??  
ウクライナもニュースが少なくなったが、その現実には思いを馳せることを忘れてはいけないと・・・  
ニュースは次から次へと新しい話題に切り替わり、他人事化が進む。物の軽重を絶えず考えないと・・・ (吉田)

★関東甲信が梅雨明けしました!  
異例の速さの梅雨明けで、今年の夏は一層暑くなりそうです。  
先日、下草刈りに参加したのですが、頭がズキズキと痛み、初めて経口補水液のお世話になりました。やはり楽になります。若くはない・・・これからの持ち物リストに追加です。 (笠原)

★雨の少ない梅雨でした。夏の水不足が心配です。  
コロナ感染者数が大きくは下がらないなか、緑の祭典、水源林の集いなど300人規模のイベントが復活して、インストラクターも頑張っています。そうになると、屋外でのマスクの着用が悩みの種です。熱中症対策のためにもマスク不要と思うが、何となくもやもや。人の目が気になる日本人のさがですかね。 (黒川)